

仙台市太白山自然観察の森情報誌

No. 224

4 森のおくりものの

2010年 4月号



Sai.M

カタクリ（ユリ科）

卯月、「暦の歳時記」の家事欄には学校の始業式、農事欄には苗代の起耕整備、開花欄にはサクラ、モクレン等が書かれている。古より雪解けの形によりたとえば「蔵王の種まき入道」が見えると田植の適期が来たといわれているそうだが、太白山にはそのような言い伝えがあるのだろうか。太白山のシンボル、ヒメギフチョウが必ず観察できるという言い伝えがあればいいのだが・・・

(武智)

あの手この手でがんばります！ ショウジョウバカマ

毛糸のポンポンみたいでかわいいピンク色の花を咲かせるショウジョウバカマ。実は、子孫を残すためにあの手この手の戦略をとる植物だったのです！今回はそんなショウジョウバカマをご紹介します。

【ショウジョウバカマ】



分布

北海道から九州までの山地の谷沿いなどのやや湿ったところに生える多年草です。

特徴

放射状にひろがった葉に、淡いピンク色～濃いピンク色の花が数個～15個集って横向きに咲きます。

観察の森で見られる場所

観察の森では、「みはらしの道」と「であいの道」の西側斜面で多くみられます。

● おもしろポイント その① 「ぐんぐん伸びる茎！」 ●

ショウジョウバカマは、茎の高さが10～30cmぐらいで花を咲かせ、花が終わると茎をどんどん伸ばし、50～60cmぐらいの高さになります。なぜそんなに茎を伸ばすのかというと、ハナバチやハナアブの力を借りて受粉し、実った長さ5mmほどの糸くずのような小さな種を風で遠くまで飛ばすためなのです！

● おもしろポイント その② 「自分の分身を作る!!」 ●

ショウジョウバカマは種で増える以外に、もう一つおもしろい方法で子孫を残します。それは、葉の先に小さな自分の分身を作り、それを切り離して、新しい株を増やすのです！下の方についている2年目の葉をよくみると、土にふれた葉の先から小さな苗が芽生えているものがあります。幼苗は、はじめは親からもらった栄養で成長しますが、古い葉が枯れる頃には、根を出して自立するのです！

【文・イラスト：咲間】

クイズ

【もんだい】 ショウジョウバカマの別名は次のうちどれでしょう？
(下の3つから選んでね！)

(A) ユリイモ

(B) カンザシバナ

(C) ツツミグサ



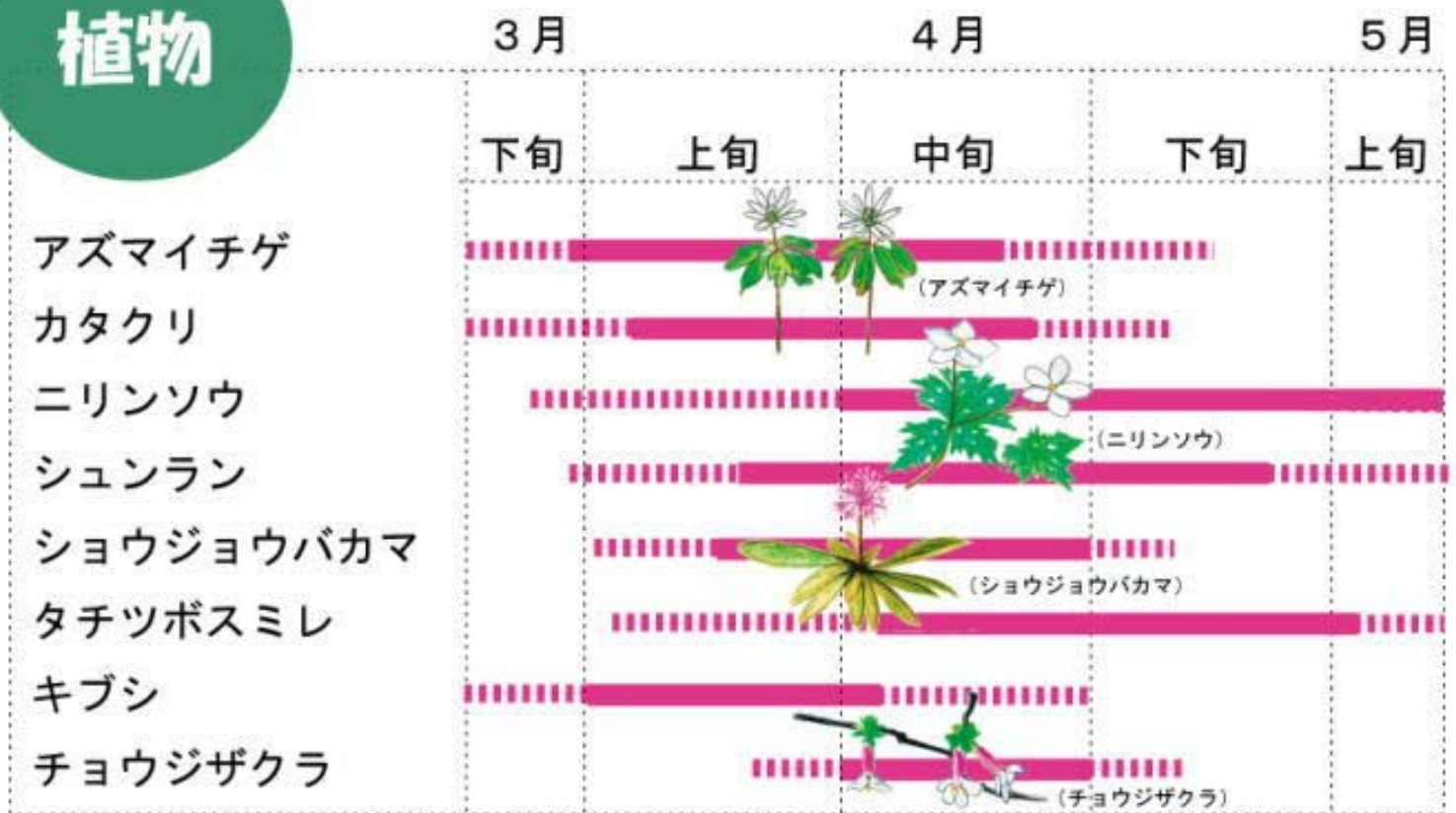
【答えは、 5 ページ 】

4月の生物ごよみ

(過去のデータから)

植物

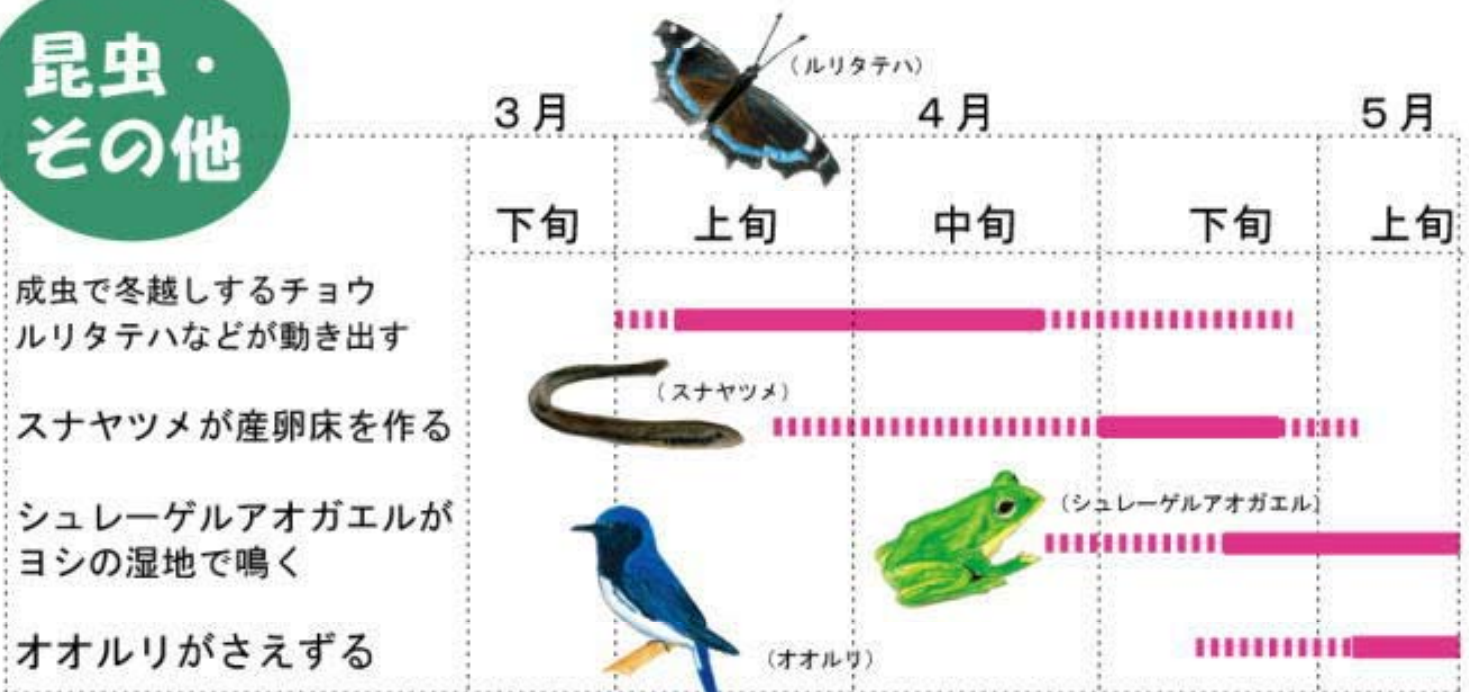
観察の森ではどんな生き物が、いつごろ見られるの？



センター前のアズマイチゲは3月7日に花を咲かせ、昨年より3日ほど早く開花しました。その後寒い日が続いたせい、カタクリなどの開花は昨年と比べ遅れているようです。(昨年は3月19日)本格的に咲き始めるのは4月に入ってからになりそうです。

【文・イラスト：齋】

昆虫・その他



みんなで自然観察

イベント報告

おはよう野鳥かんさつ

3月13日、私は非番だったのですが、観察会だけ参加することにしました。この日のガイドは、千葉孝行さん（日本野鳥の会宮城県支部幹事）でした。鳥類の調査を職業とされているそうです。穏やかな笑顔が印象的な人でした。シジュウカラとヤマガラが盛んにさえずる中観察会が始りましたが、一番最初に現れたのはシメでした。千葉さんにスコープに入れてもらったのですが、シメはしばらくじっとしていたので、みんなでかわりばんこに観察することができました。ウグイスのさえずりが聞こえ始め、二羽ほど笹藪の中に見え隠れしました。トラツグミの声も聞こえてきて、とても喜んでいる参加者もいました。そして、一瞬でしたがトラツグミが飛んでいくのを見ることができました。トラツグミは主に夜鳴くので、鳴き声を聞く機会は少ないと思いますが、私は普段も早朝から森に来ているので、実はもう10日ほど前から毎朝声を聴いていました。遠くにカラスの群れが見られたのですが、群れの場合は、ミヤマガラスの場合もあるので注意が必要だそうです。しかし、このときは遠すぎてわかりませんでした。11日から大雪でしたが、積雪がまだ少し残っており、カモシカやイノシシの足跡が、そこらじゅうにありました。カモシカの副蹄（人差指と小指）は、イノシシよりも高い位置に付いているので、普段はあまり足跡として残りませんが、雪が深かったため、カモシカの副蹄の跡も観察することができました。そして、小鳥の森付近のオニグルミの木には、二頭のニホンリスがいました。冬毛のニホンリスは、耳がふさふさしていてとても可愛かったです。この日、6時半から8時までに確認された野鳥は全部で19種。おまけにニホンリスまで見ることで、とてもいい観察会になりました。



確認種リスト：アオジ(C)，アトリ(V)，ウグイス(VS)，カケス(V)，カシラダカ(V)，ガビチョウ(VS)，キジバト(V)，コゲラ(C)，シジュウカラ(VS)，シメ(V)，ジョウビタキ(V)，スズメ(VC)，トビ(V)，トラツグミ(VC)，ハシブトガラス(V)，ヒヨドリ(V)，ホオジロ(VS)，モズ(C)，ヤマガラ(VS)。(V:目撃，S:さえずり，C:地鳴)

ぬえの鳴く夜は
おそろし～



【文・イラスト: 林】

4月 館長の独り言

毎年、12月より3月までの4ヶ月間センターの裏庭に設けた餌台にヒマワリの種子、アワ、鶏の餌、牛脂等を用意してベニヤ板に開けた観察窓から餌を食べに来る野鳥の観察をしているが、鳥たちも冬期間お山で餌が十分とれないのか日を追うごとに数が増え、昨年は16種類の鳥たちが入れ替わり立ち代りやってきた。今年も仕事の合間、合間の不定期な時間観察を続け記録を取っているが、結構月や時間帯、種類により変化が見られて時間がたつのをつい忘れてしまう。

朝出勤してすぐ観察窓からこっそり鳥たちを驚かせないように注意して見ていると、最初に姿を見せるのがヤマガラ、シジュウカラ、スズメ、ヒヨドリたちで、後から安全が確認できたのかアカハラ、アオジ、シメ、キジバト、アトリ、ガビチョウなどが姿を見せてくれる。時には、ルリビタキ、カシラダカ、カワラヒワ、トラツグミ、モズ、ハシボソガラスたちやニホンカモシカ、アカネズミなども目を楽しませてくれる。

昨年は鳥たちばかりか、センター前の広場を鼻で掘り返し埋め戻すのに大変な目にあったイノシシが、餌台のところにやってきて来館者をびっくりさせたが、今年は姿を見せず本心は来てはもらいたくないのだが、反面、如何しているのか心配でもある。

今、上記の観察のほかに力をいれているのは、センター裏の竹藪を10羽位の群れで利用し、暖かい日は裏の小川で水浴びをしているシメたちで、餌台に止まっているときの羽の白い部分の形で個体識別できたら、何時から、何羽が、何年にわたって餌台を利用しているのかわかるのではないかと考えて写真を撮っているが、動きが激しくなかなかいい写真を撮らせてくれない。

時たま聞こえてくるウグイスの鳴き声でやっとお山にも春が来たなと思いながら観察を楽しんでいるが、読者の皆さんも何か対象を決めて観察することをお勧めしたい。継続して観察するとその時々により思わぬ一面をお山（太白山）が見せてく



れる事まちがいない。
(参考に今餌台を利用しているシメの常連さんを添付します。比べてみてください。)

(武智)

クイズのこたえ

② カンザシバナ



花と茎の形から、このような別名がついたのでしょうか。ちなみに、①ユリイモは「カタクリ」の別名、③ツツミグサは「タンポポ」の別名です。

また、ショウジョウバカマという名前の由来は、花を中国の伝説上の動物の猩々(しょうじょう…オラータンの意味もある)の赤い顔に、葉を袴にみたてたと言われています。

【咲間】

4月の催し

「おはよう野鳥かんさつ」

春の雑木林を歩きながら、野鳥たちの暮らしを観察します。

4月10日(土)
6:30 ~ 8:00

【講師】竹丸勝朗氏
(日本野鳥の会宮城県支部長)

【持ち物】暖かく歩きやすい服装、
観察用具、雨具など
(双眼鏡の無料貸出あり)

★申し込み不要です
自然観察センター前にお集まりください。

「太白山の春をたずねて」

自然観察を楽しみながら、春の太白山へゆっくり登ります。

4月29日(木)
10:00~15:00

【講師】長島康雄氏
(仙台自然史研究会)

【持ち物】弁当、山登りできる服装で
【定員】30名

申し込み⇒ 8日9時から電話にて

「ガイドウォーク」

4月のテーマは『春の妖精たち』です
(毎週日曜日)

4日, 11日, 18日, 25日

午前の部→ 10:00~11:30

午後の部→ 13:30~15:00

★申し込み不要です
自然観察センター前にお集まりください。

5月の催し

森のクイズラリー

5月5日(水) 10:00~15:00

おはよう野鳥かんさつ

5月8日(土) 6:30~8:00

★申し込み不要です

策川・水辺の観察会

5月22日(土) 10:00~11:30

★詳しくは、市政だよりか、森のおくりもの5月号にて

休館日

5日、12日、19日、26日、

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2009年4月号(毎月1回5日発行)

発行:(財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133